

平成30年度取組状況

ものづくり工学科 ロボット工学コース 准教授 堀 滋樹

取組状況	
教育	<p>1. プロジェクタの使用と配布資料を併用した講義を行った。 学生が講義内容を理解し、関心を促す効果が得られるよう心掛けた。</p> <p>2. 学生の予習・復習を促す狙いで課題を出しているが、負荷にならない範囲でのさらなる工夫が必要と考える。</p> <p>3. 継続してロボット工学コースの実験および実習等内容の改変に積極的に務めていく。</p>
研究	<p>1. 本年度の卒研テーマとして、「レスキューロボットコンテスト(以下、レスコンと略す)に基づく救助ロボットの開発」を引き続き実施した。 高度なロボットの開発が要求されるテーマであるため、創意工夫と教育的効果があったと考えられる。</p> <p>2. ロボットは、無線LANを使用した画像伝送・遠隔操作/制御用デバイスを用いた遠隔操縦であり、今年度は全く新しいロボットの導入により、第18回レスコンの愛知予選に参加できている。</p> <p>3. 第19回レスコンにも申し込んでおり、既に書類審査を通過している。 今後、ロボットによるセンシング等、強化していきたいと考えている。</p>
社会貢献	<p>1. 高専祭にてレスコン用ロボットの操縦体験として近隣住民に公開し、来校した子供たちにレスコン操縦を体験してもらい、地域への啓蒙活動に繋げていくことができたと考えている。</p> <p>2. 一般社団法人日本機械学会ロボメカ部門の東京・千葉合同企画である「親子ロボットスカベンジャー工作教室」を昨年度に引き続き3日開催した。</p>